

阪南市協働事業評価シート

記入日 2022年2月24日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPO はらっぱ (担当者名：殿井 幸代)
担当課名	生涯学習推進室 (担当者名：秋山 秀子)
事業名	放課後の子どもの居場所事業
事業の実施期間	令和3年(西暦2021年)4月9日～4年(2022年)3月23日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(8年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

<p>子どもがあらまの自分のままでいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供することを目的とする。</p>

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	実施運営・広報チラシ作成
事業担当課	予算措置、委託契約、補助金申請、補助金実績報告、参加者への周知

(3) 事業費

団体	0	円	費目を記入
市	476,000	円	費目を記入((例)補助金、委託費等)
合計	476,000	円	

初年度の事業費計	691,155 円	団体分担	131,155 円	市分担	560,000 円
7年目の事業費計	447,200 円	団体分担	0 円	市分担	447,200 円
8年目の事業費計	439,200 円	団体分担	0 円	市分担	439,200 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	阪南市☆キッズはらっぱ
②開催日時	毎週水曜日午後3～5時・毎月1回土曜日午前10～12時・毎月1回土曜日午後3～5時
③開催場所	西鳥取公民館・東鳥取公民館・ふれ愛ホーム 尾崎小学校・朝日小学校
④対象者	小中学生
⑤参加人数	年間1000～1200人
⑥事業の内容	子どもがりのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供する。
⑦収益	参加費無料（収益無し）
⑧その他	

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

- ・今年度は新会場として東鳥取公民館で開催した。東鳥取小学校、上荘小学校の親子が参加していた。安心してあそべる居場所として毎週5～6組の親子が参加していた。
- ・4月末から6月中旬まで緊急事態宣言が発令され開催を中止した。夏季休暇明けから、参加者が減少した。
- ・西鳥取公民館では、夏季休暇の間、体操クラブの子どもたちが体操が始まる時間までキッズはらっぱに参加した。
- ・土曜開設のふれあいホームでは、中学生の参加もありボランティアの青年と異年齢の交流があった。平日の参加が出来ない子どもたちには楽しく過ごせる居場所になっているようで参加者も多かった。
- ・感染症対策を徹底して実施した。コロナ禍の影響で、参加者は例年より減少したがコロナ禍だからこそ、自由にあそび、様々なストレスを抱える子どもたちにとって必要な場所であり大切な放課後の居場所であることを改めて感じた。
- ・平日の放課後に参加できない子どもたちが身近な校区で参加できるよう、尾崎小学校、朝日小学校で土曜日の午前開設を実施した。尾崎小学校では、学童保育の子どもたちが指導員付き添いで参加し、日頃のちびっことは違うようで、体育館で思いっきりあそぶ姿が見られた。
- ・土曜日の午前開設は、毎月のキッズカレンダーの他に限定チラシを配布した。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

- ・昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症防止に強化のため対策の見直しマニュアルの読み合わせなど、スタッフ間で共有した。会場ではマニュアルに沿って対応、連絡先カードを回収も徹底して行った。子どもたちの感染防止に努めた。
- ・毎月学校配布する案内チラシ「キッズカレンダー」とともに、感染状況によって呼びかけのタイミングが難しかったが開催小学校限定のチラシも配布し、広報に努めた。
- ・夏季は、保護者が加わり参加者が多かったので狭い会場では「子ども優先に…」と保護者向けに注意を呼

びかけ3密を避けるようスタッフが配慮した。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	3	3
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	3	4	3.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	3	3.5
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	4	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	4	4

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校へ案内チラシを毎月配布し、開催案内を参加対象者に届けることができた。 ・安定した財源により継続して運営し、関わるスタッフの確保ができた。 ・活動の周知の手段として、「広報はんなん」への掲載や公立小中学校へ案内チラシを確実に届けることができた。 ・引き続き場所の確保ができた。 ・市内小・中学校の感染状況が把握されているので、開催中止等が速やかに判断されスタッフにも早く連絡が取ることができた。
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・行政だけは人材確保や財政面で事業展開が困難であり、協働にて事業を行うことにより、利用者ニーズに合わせた事業展開を図ることができた。
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日の子どもの居場所ができた。 ・コロナ禍でも安心してあそべる場所ができた。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・「広い場所」の確保が課題。コロナ禍で子ども達や付き添いの保護者も距離を保ちながら安心して過ごせられる場所の確保。 ・行政との打ち合わせなど定期的に持つことが出来ず、毎月の参加人数や子どもの様子の報告だけで、事業に対しての課題や現状など共有ができていない。 <p>⇒行政と定期的に連携会議を持ちながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所をよりよいものにしていく。</p>
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍において、事業の中止や再開において情報共有ができなかった部分があり、今後はよりスムーズな情報共有が必要。
市民 にとって	—

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

- 子どもの放課後の居場所の実績と必要性をより多くの方に情報発信し、特に土曜日午前開設は学校区である地域の方や保護者の方、また先生方にも理解と協力を求めていきたい。
- 阪南市のすべての子どもたちが、「キッズはらっぱ」を利用できるように、小学校区に一つ子どもの居場所の設置が理想だが、人材確保が難しいのと子ども居場所に適した場所がないのが現状。多くの人に子どもの居場所の必要性を知ってもらい理解し、場所や人材確保などの協力を求める。
- 阪南市の子どもの現状を把握し、ニーズに合った居場所ができるよう、より細やかな情報共有を図る必要がある。
- 財源については、国の新・放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室推進事業として、大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金を受けており、対象経費を国・府・市において1/3ずつ負担している。今後も市の第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画に基づき市において予算措置を行う予定。

(5) その他

- 放課後の居場所事業は市または団体で単独の実施は難しく、今後も継続させていくためには、協働での事業実施は不可欠である。子どもたちが健やかに過ごせるまちづくりへとつなげていくためにも双方の関係性をより深め協力し、事業の発展へとつなげていきたい。
- 低学年の子どもが学童保育を利用している家庭が増えている。放課後のキッズはらっぱに参加できない子どもたちが土曜日のキッズはらっぱで思いっきりあそべる場所として提供できるように、学童保育と連携を取りながらより多くの子どもが利用できるようにしていきたい。
- コロナ禍で子どもたちの生活も変化し、習いごとがリモートになり、あそびでは自宅でオンラインゲームであそぶことが増え、感染防止で対面での人との関わりを避けてしまうのは仕方のない事だが、放課後の居場所として大切な「対面での関わり」をコロナ禍でどのように安心安全な居心地のいい「放課後の居場所」として提供できるのか、また子どもたちが健やかに過ごせるまちづくりへとつなげていくためにも双方の関係性をより深め協力し、事業の発展へとつなげていきたい。

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和4年3月2日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	阪南吹奏楽団	(担当者名：寺嶋 達久)
担当課名	学校教育課	(担当者名：井谷 匡志)
事業名	阪南フレンドシップコンサート	
事業の実施期間	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できず。	
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他 ()	
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年 (8年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりを目指す。
--	---

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	阪南吹奏楽団の団員を各中学校の吹奏楽部に派遣し、練習をともに行うことで、各中学校の部員の演奏技術の向上を図る。
事業担当課	各中学校に阪南吹奏楽団の団員を派遣する日程を調整する。

(3) 事業費

団体	0円 費目を記入
市	0円 費目を記入((例)補助金、委託費 等)
合計	0円

初年度の事業費計	48,000円	団体分担	0円	市分担	48,000円
6年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
7年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
8年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。			
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。			
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。			
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。			
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。			
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。			
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。			
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。			
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。			
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。			
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。			
	12	予算は妥当でしたか。			
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。			
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。			

*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	*今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業実施できていない。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

協働で練習を行うことが難しくなっているため、吹奏楽団代表による一斉指導など、コロナ禍においてもできることを模索し、実施していきたい。

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 2022年2月26日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	男里川水系環境保全活動実行委員会（担当者名：成子和弘）
担当課名	河川農水課（担当者名：永井聖臣）
事業名	男里川水系一斉清掃行動及び、その他の活動
事業の実施期間	令和3年（西暦2021年）4月1日～4年（2022年）3月31日
提案の区分	市民自由提案部門
協働の形態	実行委員会・協議会
事業の年度	継続複数年（9年目）

1. 事業の概要

(1) 事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

男里川は、昔から農業用水、工業用水、生活用水として貴重な役割を果たしてきた。また多くの水生生物が生息している。この男里川水系を阪南市の宝として地域の方々がその素晴らしさを実感し、また環境保全活動の重要性を理解し、その環境を孫子の代まで受け継いでもらうことを目的としている。

(2) 役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	男里川水系全域の年1回の一斉清掃 男里川環境保全啓発ポスター募集、そのカレンダー作成と配布 水辺の学校（小学生約60名）の男里川での体験学習 親子水生生物観察会（夏休みに実施）
事業担当課	清掃活動への協力要請、ゴミの処分 その他活動に関わる応援

(3) 事業費

団体	約3万円
市	0円
合計	約3万円

6年目の事業費計	3万円	団体分担3万円	市分担 0円
7年目の事業費計	3万円	団体分担3万円	市分担 0円
8年目の事業費計	3万円	団体分担3万円	市分担 0円
9年目の事業費計	3万円	団体分担3万円	市分担 0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- ① 名称 : 男里川水系一斉清掃
- ② 開催日時 : 2月の第三土曜
- ③ 開催場所 : 男里川水系全域
- ④ 対象者 : 阪南市、泉南市の市民、行政の皆さん
- ⑤ 参加人数 : 75名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の清掃活動
- ⑦ 収益 : なし

- ① 名称 : 毎月1回の月例
- ② 開催日時 : 第4日曜
- ③ 開催場所 : 男里川河口部、海岸部、及び金熊寺ピオトープ
- ④ 対象者 : 市民、和歌山大学生
- ⑤ 参加人数 : 5名～15名
- ⑥ 事業内容 : 開催場所の清掃
- ⑦ 収益 : なし

- ① 名称 : 男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成活動
- ② 開催日時 : 夏休み
- ③ 開催場所 : 阪南市内
- ④ 対象者 : 阪南市内の小・中・高校生
- ⑤ 参加人数 : 約200名
- ⑥ 事業内容 : 環境啓発を目的としたポスター製作、そのカレンダー印刷配布
- ⑦ 収益 : なし

※今年度はコロナの影響により、中止

- ① 名称 : 男里川水系、水辺の学校
- ② 開催日時 : 夏休み後の9月
- ③ 開催場所 : うど橋周辺
- ④ 対象者 : 小学4年生(尾崎小学校)
- ⑤ 参加人数 : 60名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の水生生物の捕獲体験、観察。川の防災、汚染防止学習
- ⑦ 収益 : なし

※今年度はコロナの影響により、中止

- ① 名称 : 夏休み親子水生生物観察会
- ② 開催日時 : 毎年8月11日
- ③ 開催場所 : うど橋付近
- ④ 対象者 : 阪南市市民
- ⑤ 参加人数 : 約30名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の水生生物捕獲、捕獲した生物観察会、先生の生物解説
- ⑦ 収益 : なし

※今年度はコロナの影響により、中止

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
 ※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

①男里川水系一斉清掃活動：日頃から環境美化に熱心に取り組んでいる方々、また自治会活動として参加。ひとりではなかなか掃除できないが、一斉にみんなで一緒にやることで成果が上がっている。市長や役所の方々にも応援いただきとても心強い。

②月例活動：会員みなの活動で参加人数は限られているが、会員みんな熱心に活動している

③男里川環境啓発ポスター：強制ではないのに、各学校より毎年多くのポスターが寄せられる。環境美化に関心のある子ども達が多いのでとてもうれしい。そのポスターを掲載したカレンダーは学校の先生やご父兄の方々にも大変好評いただいている。

④水辺の学校：日頃、男里川で遊ぶ子は皆無に等しい。この活動を通じ、子供も達は身近に素晴らしい自然や生物がいることを実感している。学校の校長先生また担任の先生方にも喜んでいただいている。

⑤男里川水系での親子水生観察会：地元の人でも、男里川で遊んだり魚釣りをする人はいない。この活動を通じ、川に住む生物についていろいろ知っていただき、男里川にとっても愛着を感じていただいている。

※③・④・⑤については、今年度はコロナの影響により、中止

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

①男里川掃除日とゴミ回収日を同じ日にすることにより、半日ですべての作業が済む。

②環境啓発ポスター、教育委員会から市内すべての学校に要請して下さるので助かる。まとめてカレンダーにすると、みんなが作成したポスターを大勢の方々に見てもらえるので好評。

③水辺の学校も親子水生観察会も、民間団体の役員だけでは難しいが、行政機関と協働で事業を実施することで用具の準備や川の防災教育、水の汚染教育などしていただけるのがありがたい。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目	評価点		
		行政	団体	平均
1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	4	3.5

	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	3	4	3.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	4	3.5
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	4	3.5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	3	4	3.5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	4	3.5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	4	5	4.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	5	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	4	4
	12	予算は妥当でしたか。	2	4	4
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	4	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川の掃除：ゴミの収集をその日のうちにやってもらえる。 ・啓発ポスター：教育委員会から市内すべての学校に要請してもらえる。 ・水辺の学校：学校行事として取り組んでもらえる。防災教育をやってもらえる
行政にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。
市民にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川の掃除：ひとりではできないことが協働なのでできる ・啓発ポスター：子供だけでなく、先生や父兄もうれしい ・水辺の学校、水生観察：役所も行事に絡んでいるので、安心して参加できる

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体にとって	野外の活動していくうえで、安全の確保が最優先事項であるが、会員や協力していただける団体の人員に限りがあり、完全な安全対策に課題がある
行政にとって	本市の財政状況の悪化により、活動への費用面での補助が出来ていない

市民 にとって	特に課題なし
------------	--------

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■ 継続する

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

- ・ 男里川清掃活動：参加者を増やすためにどうすればいいか、次年度までによく考える
自治会でのつながりだけでなく、秋祭りでのつながりや、他の市民活動とのつながりなど考える
 - ・ 啓発ポスター：より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える
ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので有料にすることも考える
 - ・ 水辺の学校：男里川の改良工事などで川の環境が変わり実施できないことがあるので、毎年早めに川のどこで実施するか決める。
- 親子観察会：参加者募集を広報誌だけに頼っているが、もっと増やすため SNS など他の方法も考える

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 2022 年 2 月 24 日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPOはらっぱ (担当者名：川端 智代)
担当課名	学校教育課 (担当者名：花元 英夫)
事業名	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
事業の実施期間	平成 27 年(西暦 年) 月 日～ 年(年) 月 日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(8年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもたちが安心、安全に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために子どもたちの心に寄り添い、声を聴き、提案団体と行政の情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	日々の様々な事業を通じて、子どもの現状や子どものまわりで起きている問題・社会問題について得た情報を行政と共有する協力体制により解決改善を図り、子どもの育ちを支える。
事業担当課	学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課から、それぞれの担当課から市内の子どもへのかかわりを紹介する。団体と連携できる事業などについて検討し、市内の子どもたちの健全な育成につなげる。

(3) 事業費

団体	0	円	費目を記入
市	0	円	費目を記入((例)補助金、委託費等)
合計	0	円	

初年度の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円
2年目の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円
3年目の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円
年目の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- | | |
|--------|--|
| ①名称 | 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル |
| ②開催日時 | 令和3年12月22日(水) |
| ③開催場所 | 阪南市役所 3階 第2委員会室 |
| ④対象者 | 子どもNPOはらっぱ代表者、学校教育課職員、生涯学習推進室職員、こども家庭課職員 |
| ⑤参加人数 | 9名 |
| ⑥事業の内容 | NPOと各課(室)の取組などの共有 |
| ⑦収益 | なし |
| ⑧その他 | |

時間短縮し小人数で1回のみで開催となったが、団体と担当課の間でそれぞれの取り組みを共有し、コロナ禍における阪南市の子どもの現状や課題を情報交換した。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

参加者は想定した人。年に3回行うことを計画しているが新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2年ほど活動ができていなかった。コロナ禍での子どもたちの学校や家庭での生活について共有し、お互いが見えていない部分を整理することができた。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

団体の様々な事業や毎月開催の校区委員会(構成は各小学校校区の委員)の中で聞く家庭や地域での子どもたちの様子や問題を担当課に届け、担当課から得た情報を伝えるようにした。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	3	3
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	3	3	3
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	3	3
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	3	3
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	3	3	3
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	3	3
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	3	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	3	3
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	3	3
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	2	2.5
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	団体が行う様々な事業を通じて見えてくる親と子どもの現状や課題を行政の担当課と情報共有し、情報交換ができる関係づくりになっている。
行政 にとって	お互いの情報交換ができた。今後、様々な課題解決を検討できる関係を持つことができた。
市民 にとって	子どもに関わる課と情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や声を届けることができる。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	コロナ禍にあって時間を短縮する、小人数での情報交換の場となったが、もう少し踏み込んでテーマをしぼった交流の機会を持つ等、協働事業としての関係を深めていきたい。
行政 にとって	他課との連携も視野に入れ、今協同事業として関係を深めるための手立てを、後も継続して模索する必要があると考える。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
 終了する（その理由：）
 市が単独で実施する（その理由：）
 団体が単独で実施する（その理由：）
 その他（）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

団体が行う様々な事業を通じて見えてくる子どもの現状や課題を行政に届け、阪南市の子どもを取り巻く状況について担当課と情報共有する意義ある機会となっている。有効な情報交換の場となるよう実施方法を工夫し、今後も継続していきたい。

(5) その他

担当課と情報共有することで、それぞれの事業、取り組みの充実に繋げ、市民協働で連携できる事業などについても検討していきたい。

阪南市協働事業評価シート

記入日 2022年 2月 25日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団 体 名	本のリサイクル運営委員会	(担当者名: 森本 典子)
担当課名	図書館	(担当者名: 箆谷 早織)
事業名	本のリサイクル関連事業	
事業の実施期間	平成 29 年 (西暦 2017 年) 9 月 16 日 ~ 年 () 月 日	
提案の区分	<input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 (本と雑誌のリサイクル)	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業協力)	
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続 2 年目 <input type="checkbox"/> 継続 3 年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年 (5 年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的 (事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会還元すること

(2) 役割分担 (団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団 体	除籍資料や不要な寄贈資料をリサイクル販売し、その収益を社会還元する。その活動を通じ、会員が生きがいを感じる場となり又本を媒介としての市民との交流の場とする。
事業担当課	市立図書館で除籍した再利用可能資料と不要な寄贈図書等をリサイクル運営委員会に無償譲与する。

(3) 事業費

団 体	150,000 円	費目を記入(売上)
市	0 円	費目を記入((例)補助金、委託費 等)
合 計	150,000 円	

初年度の事業費計	329,486 円	団体分担 13,450 円	市分担 316,036 円
2年目の事業費計	355,527 円	団体分担 355,527 円	市分担 23,760.円
3年目の事業費計	243,077 円	団体分担 243,077 円	市分担 0 円
4年目の事業費計	137,240 円	団体分担 137,240 円	市分担 32,450 円
5年目の事業費計	見込 150,000 円	団体分担 150,000 円	市分担 0 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称：	本のリサイクル運営委員会	リサイクルブック“つながり”
②開催日時	・店舗	：毎週土曜日 10：00 ～ 12：00 & 13：00 ～ 15：00
	・運営会議	：毎月第1木曜日 10：15 ～ 12：00 (1月・5月は第2木曜日、4月は総会のため休会)
	・総会	：毎年4月第2木曜日
	・役員会	：随時必要に応じて
	・各班活動	：随時必要に応じて
③開催場所：	サラダホール1Fつながりスペース	
④対象者：	“つながり”会員 (現在 32名)	
⑤参加人数：	“つながり”会員全員	
⑥事業の内容	<p>市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会還元する。その活動を通じて、“つながり”会員全員が生きがいを感じる市民活動の場にする。また、本を媒介としてのつながりスペースを市民交流の場とする。</p> <p>具体的には、上記の通り、毎週土曜日の午前・午後にリサイクルブック“つながり”を開店し、資料のリサイクル販売を実施している。毎月1回運営委員会を開き、案件事項を検討・対処する。また、各班活動として、店のディスプレイ、各種チラシ等作成、イベント企画、チラシ作成、議事録印刷などがある。</p> <p>2021年度2月末時点の実績は、来店者 1,760人、売上冊数 2,949冊、収益 137,240円となっている。図書館からは 6,786冊(内訳：除籍資料 2,776冊・除籍雑誌 1,464冊・不要となった寄贈資料 2,546冊)が“つながり”へ譲与された。</p> <p>社会還元の一環として、2022年度は図書館の雑誌7誌の雑誌スポンサーとなり、年間購読料を負担する予定である。</p>	
⑦収益	： 2021年度見込み	150,000円
	※ 新型コロナウイルス感染症対応の為	2021年4月～6月、2022年1月～3月営業中止
⑧その他		

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

図書館を考える会をベースとして、図書館フレンズ参加者が加わった形でスタートし、継続している。会員同士の交流が増え、意見交換も活発となり、参加者が楽しく・生きがいを感じる場となっている。また、少しずつではあるが、リサイクルブック“つながり”の存在がブログやSNSなどを通じて、知られるようになり、市民交流の場となりつつあると感じている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

幅広い世代に活動をPRするため、ブログ・SNSなどの情報発信に努めている。また、活動紹介のチラシをリニューアルし、より多くの人に配布していく。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	3	3
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	3	3
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	N	3
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	3	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	3	3
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	3	3
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	2	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由
7	当団体として自立運営しており（除籍・寄贈本）不要資料を提供していただくにあたり、「得意分野・・・」の質問が適当ではない。

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	今年度も新型コロナウイルス感染症対応という状況において、行政・図書館・他団体の情報を共有することで、店の営業中止・再開、予防対策対応等で適切に実施できた。
行政 にとって	図書館で不要となった本が活用され、その収益が市立図書館の雑誌購入に使われていることで、市の読書活動が推進されている。
市民 にとって	新しい人と人とのつながりも生まれ、市民交流が広がっている。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	つながりスペースを共有する団体が増えたため、利用時に発生する課題に対応する話し合いの場を設ける必要がある。
行政 にとって	図書館運営が指定管理者に移管するにあたり、様々な情報の共有、状況変化に対応できる話し合いの場の必要性がある。
市民 にとって	平日の営業を希望するお客様の声がある。平日営業を実施するには、店番の人数確保が必要であり、会員の増員が不可欠である。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・平日営業をできるようにしていきたい。 ・若い世代の会員の参加を積極的に呼びかけていきたい。 ・PRを兼ねて、イベントに合わせた臨時営業日を増やし、集客を計りたい。 ・様々な世代の人たちにアピールできるイベントを企画していきたい。
--

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和4年3月1日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	一般社団法人 泉州バリアフリー協会 (担当者名：嶋津 克彦)
担当課名	市民福祉課・まちの活力創造課 (担当者名：長瀬、楠本)
事業名	阪南市やぐらパレードバリアフリーマップ作製とバリアフリー観覧席設置
事業の実施期間	令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年(年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

泉州地域におけるバリアフリーを推進し、情報発信することによって、バリアフリーマーケットを確保し、循環型地域経済の再構築をめざす。又、ユニバーサルツーリズムの観点から、地域の豊かな自然環境、産業、歴史など様々な観光資源をあらゆる人が享受できるように、また「おもてなしの心」を持って紹介し、障がい者や高齢者が健常者とともに暮らすノーマライゼーション社会を寄与する事を目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。
事業担当課	阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。

(3) 事業費

団体	0円 費目を記入
市	0円 費目を記入((例)補助金、委託費 等)
合計	0円

初年度の事業費計	123,768円	団体分担	123,768円	市分担	0円
2年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
3年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年に引き続き阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。



(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年に引き続き阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年に引き続き阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点） ・あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点） ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。			
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。			
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。			
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。			
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。			
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。			
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。			
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。			
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。			
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。			
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。			
	12	予算は妥当でしたか。			
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。			
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。			

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（泉州バリアフリー協会がサポートし、実行委員会形式での実施を検討する。 _____）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

来年度についても引き続き、他団体との協働による実行委員会形式での実施や、やぐらパレード実行委員会への参画を検討する。持続可能な実施のため、パレードコース、尾崎駅界隈の「まちあるき」の事業費確保のため、参加者負担等の一部有償化を検討する。

(5) その他

団体独自の事業として、事務所の駅周辺への移転及び事務局職員の常駐等を検討しており、パレード時においても観覧席として活用の可能性がある。また、尾崎駅山側のエレベーター改修工事が令和4年秋頃に完了予定であることもあり、パレード観覧者増加の可能性もある。

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和4年3月3日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	泉州電波発信協会 (担当者名：仲谷 進・栗瀬 誠)
担当課名	未来創生部 シティプロモーション推進課 (担当者名：新田 恭子・木村 純子)
事業名	阪南TV用映像コンテンツ作成業務 「はなてい ch.」
事業の実施期間	令和3年(西暦2021年)4月1日～令和4年(西暦2022年)3月31日
提案の区分	<input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 (阪南TV(インターネットテレビ))
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(事業協力)
事業の年度	<input checked="" type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年(年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

インターネット動画サービスYouTube を利用し放送を行っている「阪南TV」にて、市政情報を中心とした「お知らせ型」情報発信となっている現状課題を解決するため、多様な民間活力を積極的に活用することで、市の情報発信に加え、地域的话题に特化したコンテンツを多彩に展開し、本市の魅力効果を効果的・広域的に発信、更なる認知度の向上、交流人口の獲得及びシビックプライドの醸成につなげることを目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	映像コンテンツの企画提案→市担当者との番組制作会議→撮影→編集→成果品の納品
事業担当課	団体との番組制作会議→成果品の納品確認→阪南TV放送

(3) 事業費

団体	0円 費目を記入
市	456,700円 費目を記入(委託料)
合計	456,700円

初年度の事業費計	456,700円	団体分担	0円	市分担	456,700円
2年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
3年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。
 ※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	阪南TV用映像コンテンツ はなてい ch.
②開催日時	毎月第3火曜日
③開催場所	市内各所
④対象者	阪南TV視聴者
⑤参加人数	パーソナリティ3名(阪南市在住)、取材先関係者、泉州電波発信協会2名
⑥事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的に沿った内容で、5～10分程度の映像を月に2本程度作成。 本市ならではの魅力を最大限に引き出し、分かりやすくPRする内容とすること。 市民だけでなく、国内外の幅広いターゲットや分野において活用できるもの。 前例にとらわれず、斬新で独創的な話題性を生み出すもの。 音楽(BGM)、字幕、コンピュータグラフィック、イラスト等を適宜挿入すること。 ・月1回の番組制作会議を市担当者と団体間で設ける。また、必要に応じ適宜打合せを行う。
⑦収益	0円
⑧その他	

**(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
 ※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。**

新型コロナ感染拡大に伴うイベント等の中止もあり、企画どおりの内容を撮影することができなかったことが想定外であった。
 しかし、市内で活躍する人や店舗、教室の紹介等にフォーカスした内容でコンテンツを制作し、阪南市民の参加数を確保することで、市内店舗などに阪南TVをPRするカードやフライヤーの設置につながっていたり、事業者によってはSNSを利用し、はなてい ch. のPRや阪南TVのPRを自主的に行うことで、視聴回数の増加につながっている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

新型コロナ感染拡大に伴うイベント等の中止もあり、企画どおりの内容を撮影することができなかったが、市内で活躍する人や店舗、教室の紹介等にフォーカスした内容でコンテンツを制作することで地域活性化につなげることができ、斬新な内容でコンテンツ制作にあたることができた。
 また、月1回の番組制作会議においては、番組制作目的を確認しながら市担当者と団体間で情報交換・情報共有を十分に行い映像コンテンツの制作にあたることができた。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点) ・あまりできなかった(2点)
 - ・できなかった(1点) ・評価項目として適当でない(N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3

	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	3	3	3
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	3	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	4	4	4
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	4	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	5	5	5
	12	予算は妥当でしたか。	4	3	3.5
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	4	4

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体にとって	市内で活躍する人や店舗、教室の紹介等にフォーカスした内容でコンテンツを制作することで、地域活性化につなげることができたこと。様々な人の発掘をすることができ、フォーカスした人達へのやる気や喜びにつながった。
行政にとって	行政情報だけにとどまらず、市の魅力につながる話題を放送することで、阪南 TV の認知度の向上、内容の充実度が増幅したこと。また、コンテンツ内容を市民参画型とした効果もあり、認知度の向上につながっていること。
市民にとって	地元に着目した話題をバラエティー豊かにコンテンツの制作を行うことで、市民の興味・関心につながったこと。また、PR の場を設けることで活躍の場・地域活性の創出を図ることができた。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	課題：新型コロナ感染拡大の影響もあり、コンテンツ内容の年間計画通りに制作が行われず素材集めに苦慮したこと。 改善点：社会情勢に影響されることがないように、変動的なコンテンツ内容・固定的なコンテンツ内容の両軸で番組制作会議での打合せを行う。
行政 にとって	課題：新型コロナ感染拡大の影響もあり、予定していたコンテンツの実施が難しくなった際、団体との制作調整会議が予定より長時間要したこと。 改善点：番組制作会議がスムーズに行えるよう、団体には、変動的・固定的コンテンツの企画を依頼するとともに、行政側では、タイムリーな情報をキャッチし、番組制作会議での情報共有に生かせるよう努める。
市民 にとって	課題：YouTube の再生回数は伸びているものの、まだまだ認知度が低いこと。 改善点：Instagram、LINE、Facebook 等の SNS での計画的な情報発信により、さらなる発信力強化につなげ、市内の出演者を増やすことでの関係人口増加・認知度の向上・市への愛着醸成につなげる。市のHPトップにリンクを貼ることでアクセス（視聴回数）向上をめざす。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

■初年度の場合、今後も協働事業として実施する（■提案事業継続 □提案事業以外）

- 終了する（その理由：）
□市が単独で実施する（その理由：）
□団体が単独で実施する（その理由：）
□その他（）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

市民参画型の TV 、活躍の場の創出を図り、市内の出演者を増やすことでの関係人口増加・認知度の向上・市への愛着醸成につなげる。
行政情報のみならず、地域の話題に特化したコンテンツを多彩に展開することで本市の魅力を効果的・広域的に発信する。
現在、阪南 TV 放送終了後に市役所 1 階受付ロビーにて DVD を放映。今後は、インターネット TV ならではの強みを生かし、拡散力の高い SNS を活用した更なる視聴者数の新規獲得に努め、視聴回数増をめざす。

(5) その他